

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-42197

(43)公開日 平成5年(1993)2月23日

(51)Int.Cl.⁵

A 6 1 J 9/06

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

B 7720-4C

審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)

(21)出願番号 特願平3-224783

(22)出願日 平成3年(1991)8月9日

(71)出願人 591195282

藤田 茂枝

高知県高知市鶴野1563-4

(72)発明者 藤田 茂枝

高知県高知市鶴野1563の4

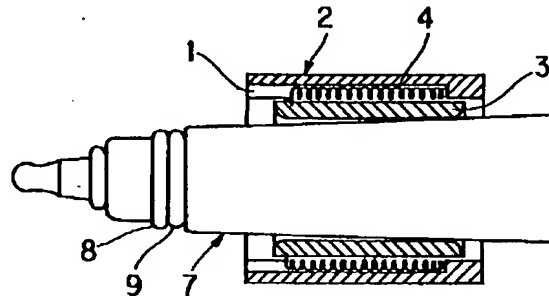
(74)代理人 弁理士 中山 正義

(54)【発明の名称】 哺乳コントロール器

(57)【要約】

【目的】 乳児に哺乳する時に用いる哺乳コントロール器を提供することを目的にする。

【構成】 スプリング溝1を有するケース2と、このケース2内にあって挿入した哺乳びん7を支持するホルダ3と、このホルダ3に一端を固定し他端を前記ケース2のスプリング溝1に固定することによってケース2内にホルダ3を弾性的に支持するスプリング4と、前記ケース2を支持するアーム5と、このアーム5を回動可能に支持する基台6と、からなり、乳児が哺乳びん7を持って乳を吸っている時には、哺乳びん7はスプリング4の弾力に抗してケース2から突出し、乳児が哺乳びん7を放した時には、哺乳びん7はスプリング4の弾力でケース2の中に戻るよう構成したものである。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 スプリング溝1を有するケース2と、このケース2内にあって挿入した哺乳びん7を支持するホルダ3と、このホルダ3に一端を固定し他端を前記ケース2のスプリング溝1に固定することによってケース2内にホルダ3を弾性的に支持するスプリング4と、前記ケース2を支持するアーム5と、このアーム5を回動可能に支持する基台6とからなり、乳児が哺乳びん7を持って乳を吸っている時には、哺乳びん7はスプリング4の弾力に抗してケース2から突出し、乳児が哺乳びん7を放した時には、哺乳びん7はスプリング4の弾力でケース2の元の位置に戻るよう構成した哺乳コントロール器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、乳児に哺乳する時に用いる哺乳コントロール器に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、哺乳びん7の内の乳を乳児に与える場合は、母親等が哺乳びん7を手で持って与えていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、現代社会においては、母親も社会において働く機会が多く、帰宅してから乳を乳児に与える場合は、体を休める間もなく母親が哺乳びん7を手で持って与えなければならなかった。また、産院、保育所等においても人手不足の折から、哺乳の為に人手を省略することが出来、更に哺乳効果をあげることが好ましい。

【0004】

【課題を解決するための手段】この発明の哺乳コントロール器は、スプリング溝1を有するケース2と、このケース2内にあって、挿入した哺乳びん7を支持するホルダ3と、このホルダ3に一端を固定し他端を前記ケース2のスプリング溝1に固定することによってケース2内にホルダ3を弾性的に支持するスプリング4と、前記ケース2を支持するアーム5と、このアーム5を回動可能に支持する基台6と、からなり、乳児が哺乳びん7を持って乳を吸っている時には、哺乳びん7はスプリング4の弾力に抗してケース2から突出し、乳児が哺乳びん7を放した時には、哺乳びん7はスプリング4の弾力でケース2の中の元の位置に戻るよう構成したものである。

【0005】

【実施例】この発明を例示した図にもとずいて説明する。図1はこの発明の哺乳コントロール器の斜視図、図2はケース等要部の断面図である。

【0006】軸心と平行に、複数のスプリング溝1を内側に有する円筒状のケース2を備え、このケース2内に

2

は、外側がテーパになっている哺乳びん7を挿入し、そのテーパ部分でしっかりと嵌合して支持する長さが3〜4センチで両端内側に丸みを有するホルダ3を設ける。そのホルダ3にはスプリング4の一端を固定し、スプリング4の他端を前記ケース2のスプリング溝1に固定することによってケース2内にホルダ3を弾性的に支持するようになっている。そして、前記ケース2には、ケース2を支持するアーム5を取り付け、そのアーム5の他端を回動可能に支持する基台6にセットする。図示していないが、哺乳びん7の頭部の環8、9の間を薄い弾性体でつないで伸縮できるペローズ状にすることが出来る。また、基台6はベットの棧に挟みつけるような部材に替えて実施することも出来る。

【0007】このように構成した哺乳コントロール器は、乳児の所に回動させたアーム5の先に設けたケース2内の哺乳びん7を、乳児が持って乳を吸っている時には、哺乳びん7はスプリング4の弾力に抗してケース2から突出し、乳児が哺乳びん7を放した時には、哺乳びん7はスプリング4の弾力でケース2の中に戻るようになっている。

【発明の効果】この発明によれば、A、真空注型法にしたがって自動的飲乳を誘導する形式になっていること。

B、この哺乳コントロール器は、固定した基台を置いて中央部より自由自在に哺乳びんの指向を変化することが出来ること。C、市販の哺乳びんを哺乳コントロール器のホルダにセット差し込むだけで、自動的に哺乳びんを密着することが出来ること。D、乳児の口に乳首をはめるだけで、吸乳力に応じて伸縮するケース内のスプリングの弾力に応じての位置を調整することが出来ること。

E、乳児の吸乳力に応じ、哺乳びんはスプリングの弾力で元の位置に戻ると同時に、口元より横側が空気口の役目を果たし快適に飲み干すことが出来ること。また、人は生まれながらにして去る物を追い掛ける心理が働き、動く物体にたいし敏感に反応する性質を当哺乳コントロール器は特に強調する所である。実例によれば敏感に乳児が反応するとともに交感神経が働き好奇心と欲望的支配力を養う器具はこれ以外に実例がないといった効果を奏するものである。

【図面の簡単な説明】

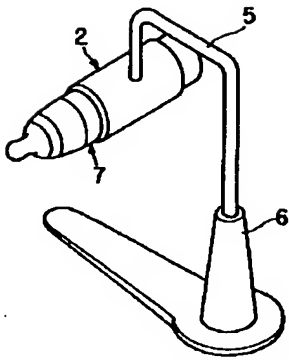
【図1】はこの発明の哺乳コントロール器の斜視図である。

【図2】はケース等要部の断面図である。

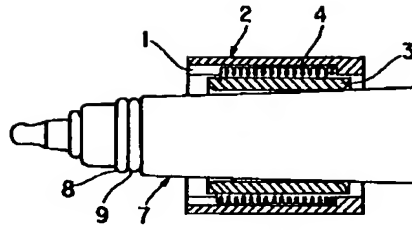
【符号の説明】

- 1〜スプリング溝
- 2〜ケース
- 3〜ホルダ
- 4〜スプリング
- 5〜アーム
- 6〜基台

【図1】



【図2】



PAT-NO: JP405042197A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 05042197 A
TITLE: SUCKLING CONTROLLER

PUBN-DATE: February 23, 1993

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
FUJITA, MOE	

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
FUJITA MOE N/A	

APPL-NO: JP03224783
APPL-DATE: August 9, 1991

INT-CL (IPC): A61J009/06

US-CL-CURRENT: 215/11.6

ABSTRACT:

PURPOSE: To offer the suckling controller used at the time of suckling a baby.

CONSTITUTION: The suckling controller consists of a case 2 having a spring groove 1, a holder 3 which exists this case 2 and supports an inserted nursing bottle 7, a spring 4 for supporting elastically the holder 3 in the case 2 by fixing on end to this holder 3 and fixing the other end to the spring groove 1 of the case, an arm 5 for supporting the case 2, and a base for supporting this arm so as to be turnable. Also, this suckling controller is constituted so that when a baby has the nursing bottle 7 and is sucking milk, the nursing bottle 7 protrudes from the case 2 against elasticity of the spring 4, and when the baby releases the nursing bottle 7, the nursing bottle 7 returns to the inside of the case 2 by elasticity of the spring 4.

COPYRIGHT: (C)1993,JPO&Japio